

第76回国民体育大会卓球競技京都府予選会（成年・少年の部）

1. 期 日 6月26日（土）①少年男子の部 9時～
②少年女子の部 ③成年男子の部（一次予選） ④成年女子の部 13時～
7月11日（日）③成年男子の部（二次予選） 9時～
2. 会 場 6月26日（土）伏見港公園体育館
7月11日（日）島津アリーナ京都第2競技場（成年男子二次予選）
3. 試合方法 (1) 競技規則は、現行の日本卓球ルールを適用する。（11ポイント5ゲームスマッチ）
(2) 使用球は、予選会についてはNittakuプレミアム球とする。（ただし本大会は（公財）日本卓球協会公認プラスチック球 40mm ホワイトとする。）
4. 都道府県代表選手の選考について
都道府県大会等に参加し、これを通過したものであること。但し、事情により都道府県大会を実施できない場合あるいは都道府県大会に参加できない場合には、下記(ア)、(イ)の選考方法が認められる。なお、やむを得ない事情により都道府県大会を実施・参加できない場合は、事前にその事情について各都道府県スポーツ協会、（公財）日本卓球協会と協議し了承を得ておくこと。（ここで、都道府県大会等とは国体予選会、都道府県選手権、その他予め指定した競技会、都道府県内ランキングなどを指す）
(ア) 選考基準を事前に周知徹底しておくことを条件に、どの選手をどのような手順で代表とするかについて、代表選手選考方法は都道府県に任される。
(イ) ブロック大会を実施する種別で当該都道府県がブロック大会を勝ち抜いた場合、ブロック大会に実際に参加した者に代えて、本大会には他の者を参加させることができるが、この場合その者が当該都道府県大会の同一種目に「参加」していることを条件とする。なお、ここでいう「参加」には「当該都道府県が予め（公財）日本卓球協会に了承を得た選手選考方法により選出した者」の意味を含むものとする。
(ウ) トップアスリートの特例措置を別途定める。
※第76回国民体育大会予選会免除対象大会
・東京オリンピック競技大会卓球競技
・FISUワールドユニバーシティゲームズ
5. 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準
監督及び選手の参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準は、下記のとおりとする。
①参加資格
(ア) 日本国籍を有する者であることとするが、監督及び選手のうち次の者については、日本国籍を有しない者であっても成年又は少年の種別に参加することができる。
(1) 出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち永住者。
(2) 学校教育法第1条に規定する学校に在籍する学生及び生徒。ただし、出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち、就学生（主に高校生）及び家族滞在（中学3年生）については、大会実施要項が定める参加申込締切時に一年以上在籍していること。また、留学生（主に大学生）については参加できない。
(3) 参加しようとする当該年以前に前号(2)の規定に該当していた者。
(イ) 各競技の選手及び監督は、所属都道府県の当該競技団体会長とスポーツ協会会長が代表として認め、選抜した者であること。
(ウ) 第74回大会または第75回大会（都道府県大会及びブロック大会を含む）において選手及び監督の資格で参加した者は、次の場合を除き第74回大会または第75回大会と異なる都道府県から参加することはできない。
(1) 2020年度に学校教育法第1条に規定する学校を卒業した者。
(2) 結婚及び離婚に係る者。
(3) ふるさと選手制度を活用する者（成年種別）：「国民体育大会ふるさと選手制度」による。
(4) 一家転住に係る者（少年種別）：「一家転住等」に伴う特例措置の考え方による。
(5) JOC エリートアカデミーに在籍する者（少年種別）。
(エ) 選手及び監督の兼任は、同一種別内に限る。
(オ) 前記のほか、選手については次のとおりとする。
(1) 参加選手は冬期大会及び本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。
(2) 回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することできない。
(3) 健康診断を受け、健康であることを証明された者であること。
(4) ドーピング・コントロール検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。
(カ) 監督は以下のいずれかを満たす者とする。また同時に公認審判員以上の審判員資格を有していること。

- (1) 日本スポーツ協会及び日本卓球協会認定・公認卓球コーチ 4 の資格を有する者。
- (2) 日本スポーツ協会及び日本卓球協会認定・公認卓球コーチ 3 の資格を有する者。
- (3) 日本スポーツ協会及び日本卓球協会認定・公認卓球コーチ 2 の資格を有する者。

②所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

<成年種別>

(ア) 居住地を示す現住所（現住所とは住民登録がなされ、日常生活をしている所を指す）

(イ) 勤務地

(ウ) ふるさと（国民体育大会ふるさと選手制度による）

※ 大学生の場合にあつては、居住地を示す現住所またはふるさとのいずれかを選ぶことができる。
ただし、ふるさとの場合、「国民体育大会ふるさと選手制度」による。（小学校卒業が追記されました。2021 年国体から）

<少年種別>

(ア) 居住地を示す現住所（現住所とは住民登録がなされ、日常生活をしている所を指す）

(イ) 学校教育法第 1 条に規定する学校の所在地

(ウ) 勤務地

(エ) 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例」に定める小学校の所在地

※ 上記に属する都道府県のうち、「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校教育法第 1 条に規定する学校の所在地」のいずれかから参加する場合は、2021 年 4 月 30 日以前から本大会終了時（2021 年 10 月 5 日）まで、引き続き当該地にそれぞれ居住、勤務または通学していなければならない。
ただし、次の者はこの限りではない。

- ・ <成年種別> a: 「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける場合
b: 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける場合
- ・ <少年種別> a: 「一家転住」した場合
b: 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける場合

③選手の年齢基準

(ア) 成年種別に参加する者は、2003 年 4 月 1 日以前に生まれた者とする。

(イ) 少年種別に参加する者は、2003 年 4 月 2 日から 2007 年 4 月 1 日までの間に生まれた者とする。
（中学 3 年生を含む）

④前記の各事項に疑義のあるときは、(公財)日本スポーツ協会及び当該競技団体が調査・審議の上、(公財)日本卓球協会がその可否を決定する。

- | | |
|----------|--|
| 6. 参加料 | 高校生（含中学 3 年生） 600 円、 大学生 1,000 円、 一般 1,200 円 |
| 7. 代表選考 | 予選会第 1 位は代表選手とし、各種別とも他の 2 名は京都卓球協会理事会にて決定する。
ただし成年男子については、強化指定選手が一次予選当日に日本リーグ等と日程が重なるため 6/26 の一次予選にての上位 4 名と強化指定選手の 4 名を加えて 8 名にて 7/11 二次予選を行い、その二次予選での第 1 位は代表選手とし、他の 2 名は京都卓球協会理事会にて決定する。 |
| 8. 近畿大会 | 近畿ブロック大会は 8 月 28 日（土）～29 日（日） 大阪・門真スポーツセンターにて開催。
本大会の代表については成年男子 2 チーム、成年女子 4 チーム、少年女子 2 チームが近畿ブロック大会より参加できる。また、少年男子は近畿ブロック大会を経ずに本大会へ出場できる。 |
| 9. 本大会 | 10 月 1 日（金）～10 月 4 日（月） 三重県 三重県営サンアリーナにおいて開催される。 |
| 10. 申込締切 | 6 月 16 日（水） 必着 |

※ ふるさと選手制度にて予選会参加希望の方は、所定の申請書に必要事項を記入の上、
原本は参加申込書、参加料振込票コピーともに京都卓球協会事務局（〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町 70 京都府スポーツセンター内）へ、またコピーは東山高等学校 宮木操先生（〒606-8445 京都市左京区永観堂町 51 ）へ郵送してください。
尚、不明な点は宮木先生（TEL 075-771-9121）もしくは事務局今西（080-2467-4871）まで連絡ください。

※ 登録地が京都以外の府県で、2021 年 10 月 9 日 10 日開催の全日本選手権（一般の部）京都府予選会に出場しようとする大学生は、国民体育大会京都府予選会に出場したことを必須とします。